

ワークキャンプの前に以前から興味があった「ウッドターニング」の研修に埼玉県さいたま市北区で二日間の研修を行いました。そこにたどり着くのに一苦勞、アメリカの大統領が日本を訪問しているの、都内は至る所で検問！首都高の閉鎖箇所を迂回しながら遠回りして行きました。大自然のひろばから持参した、栗の木を含めて二日間で4個のボールを作り、半年ぐらい乾燥させれば完成です。ウッドターニングは奥が深く、これから学んでいくのが楽しみです。

さて、5月28日夜に埼玉から佐久に移動して、29日から始める工事の準備を行います。まずは食料の買い出しとベッドの準備（3名分）清掃などを行って、23時に就寝。



大自然のひろばで切り倒した栗の木



今回の作業は便屋の移動（方向が間違っていた）自然浸透式の排水槽作り、ホール及び倉庫の入り口に生コンでたたきを作る。便屋のコンクリ打ち、林道入り口の整備そして電気工事の調査です（折本さん）土木工事には基礎などをお手伝いいただいた延末さん一澤さんをお願いしました。

5月29日（水）外気温16℃ 室内21℃ 明け方まで小雨その後 霧 のち晴れ

9時ごろに延末さんがダンプカーで到着、資材と材木。

断熱材などを下ろしてからユンボを専用の歩み板で下ろして作業開始です。まずは便屋を掘り出して、90度向きを変えてから建物の中に設置します。ユンボで効率よく掘り出し、宅内の穴は手作業でしたが、3時間ほどで便屋の方向を変えて埋め戻すことが出来ました。その間に、大きな栗の木を西の谷に落としたり、栗の根を掘り出して地面の整備を行い平らで広い場所が出来上がりました。重機の威力は凄いですね！





昼食後はホール及び倉庫の入り口に設置するたたきの型枠を作っていきます。

今回も工務店さんから間柱や断熱材など（左側）沢山の材木をいただきました。（感謝）

自然透過式排水槽作りのために、西側に深さ2mほどの穴を掘り、明日は内側に石積みを行います。

重機で掘るから大変効率的で疲れませんが、これが手掘りだったら、とても私の手に負える物ではありません。18時までに型枠作りを終えて、荒船温泉で今日の汗を流しました。



5月30日（木） 6℃ 18℃ 冷えましたが！ 快晴

天気が良くなってかなり冷え込みました。明け方の気温は昨日よりも10℃低く、冬の気温です。朝から薪ストーブを焚いてログハウスを暖めます。8時にはダンプカーで生コンを買いに出発



（私の役割）昨年からお世話になっている骨材屋さんで柔らかめの（21-18 0.75mm³）材料をダンプに積載して現場に戻ります。固まらないうちに生コンを型枠に流して手で押さえなくてはいけないので、お昼ご飯もそこに作業を急ぎます。生コン打ちは辛い作業です。

折本さんも到着して、電気配線作業の調査を行っています。排水槽も同時進行で自然石を積み上げて泥と生コンで固定します。谷側には碎石や小石を入れて、水が浸透するように自然石と組み合わせて積んでいきます。





アーボリストの技術で木登り

午後になり折本さんは樹木に食い込んだロープを発見（20年ほど前に設置した物）樹木が傷むので、上まで登って切断。

浸透層の石は現地調達、大きく作ってしまったので石は100個以上拾ってきました、生コン、そして四角い蓋は手練りのコンクリ材料を使用しました。



17時30分に作業終了！

今夜の温泉は佐久市内の「一万里温泉」4人でリフレッシュしてきます。

夕食はピーマン肉炒めと麻婆豆腐、ごはん、味噌汁もちろん自炊です。 23時就寝

5月31日（金）外気温12℃ 室内21℃ 曇
8時から作業開始三日目、生コンや石運びで腰が痛くなり、身体もおもい、今日の土木工事も辛そう！

この時期に松林に発生する「春ゼミ」（絶滅危惧種）が「ジーツー ジーツー」と鳴きはじめました。森の中はキツツキ、コゲラなど野鳥が鳴き騒がしくなっています。



この時期に松林に発生する「春ゼミ」（絶滅危惧種）が「ジーツー ジーツー」と鳴きはじめました。森の中はキツツキ、コゲラなど野鳥が鳴き騒がしくなっています。

早朝からダンプカーで足りない石を



荒船不動付近で40個ほど拾ってきて、石を積み上げ、自然浸透式排水槽の配水管の設置および蓋部分をコンクリートで作成して、その周りの整地します。折本さんは9時ごろに群馬のお寺に移動

しました。予定された作業は順調に進み、今夜は早めに仕事を終えて温泉は明日にして夕食（サラダ鳥の照り焼き、豆腐、納豆、ごはん、味噌汁） 22時就寝。

6月1日（土） 10℃ 20℃ はれ



4日目の作業、便所の周りのコンクリート設置、正面及び裏口のたたき（コンクリート）設置、ホール正面の拡張工事（東側）松の根を掘り出す作業、そして最後に林道入り口付近の拡張工事です。傾斜を緩くして、今まで水たまりが出来ていたところが自然に雨水が流れ出る



ように整備しました。この作業はユンボの運転が上手に出来ないといくこんなに短時間に完成することは無かったですでしょう。素晴らしい腕前です。

型枠などに使ったコンパネや古くて使えない材木を燃やして整理する作業も行いました。



また、余った土をダンプで運んで倉庫前のハウ스에あったくぼんだ土地を平らにすることも出来ました。

4日間の土木作業で私たち人力ではとても出来ない作業を完成することが出来ました。14時には作業終了して、資材や道具の後片付けを行い。15時に帰路に。

次回のワークキャンプは6月10日から12日の3日間、ホールの内装工事を行います。お手伝いいただける方はご連絡ください。